

C O L L E C T I O N E X H I B I T I O N

吉井英敏 (フッヂール) 1946年 広島県立美術館蔵



サマーミュージアム
 広島県立
 美術館の
 ふしぎな
 学校

えいご

さんすう

たいいく

りか

かていか

1

室

2

室

3

室

4

室

夏の
 所蔵作品展

Summer Museum
 Amazing School at
 the Hiroshima Prefectural
 Art Museum

2022 7/28 Thu ▶ 10/23 Sun

【開館時間】9:00~17:00 (9月4日までの金曜日は20:00まで、9月5日~31日の金曜日は19:00まで) ※入場は閉館の30分前まで
 【休館日】9/5、9/12、9/26、10/3、10/17
 【入館料】一般510(410)円/大学生310(250)円 ※()内は20名以上の団体
 【縮景園共通券】一般610円/大学生350円 ※特別展は別料金
 ※高校生以下無料 ※当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。
 ※障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料(1階総合受付でお申し出ください)。

広島県立美術館 2階展示室
 Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上本町2-22
tel.082-221-0246 fax.082-223-2444

<https://www.hpam.jp/>

【概要】

夏の所蔵作品展 サマーミュージアム 広島県立美術館のふしぎな学校

1968(昭和43)年に開館した広島県立美術館は、1996(平成8)年に現在の建物に生まれ変わり、所蔵作品展と特別展という両輪によって美術の魅力を発信しています。当館は開館以来、多くの方々のご協力を得てコレクションを充実させてまいりました。収集重点方針として「広島県ゆかりの美術」「1920～30年代の美術」「日本およびアジアの工芸」を掲げ、現在は総数5,000点を超えています。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度3回、長きにわたって臨時休館しましたが、今年度は再びみなさんに美術館を楽しんでいただけることをうれしく思います。

さて、今期の所蔵作品展では、「ウェルカムギャラリー」と「広島県立美術館のふしぎな学校」の2本立てで、当館コレクションをご紹介します。

まず、昨秋に設置した「ウェルカムギャラリー」では広島ゆかりの代表的作家を取りそろえ、作品を展示替えしながら皆さまをお迎えます。

続く4つの展示室では、夏の特別展「安野先生のふしぎな学校」に響きあう所蔵作品展として「広島県立美術館のふしぎな学校」を開校します。美術館を学校に見立て、各展示室では国語や算数、体育、音楽などの教科をイメージした作品が並びます。美術館での「学校」体験をぜひお楽しみください。また、お子様向けにはセルフワークシートを配布しています。ワークシートを手に、さまざまな設問にチャレンジしてください。

会期中には、ギャラリートークや対話型鑑賞会、インスタグラムのライブ配信に加え、ワークショップといった関連イベントも開催して、さまざまな角度から当館コレクションの魅力を発信します。

当館は新型コロナウイルス感染拡大防止策を施して皆さまをお迎えますので、ご理解とご協力をお願いします。ご来館のたびに新しい美の魅力を発見し、心とんでいただける展示をめざし、今後も努力を重ねてまいります。この夏の所蔵作品展をお楽しみください。

【第1展示室】

さんすう

時計や数字が表現された作品や、同じモチーフが繰り返され、つい数えなくなる作品、二次元と三次元を行き交う幾何学的な作品を紹介します。数や形の不思議を、感じてみましょう。



山田光《消えた1》1976年

えいご

「アルファベット」「英単語」を表現した作品、「英文」が含まれた作品を紹介します。言語の成り立ちや、言葉を学ぶということについて、考えを巡らせてみましょう。

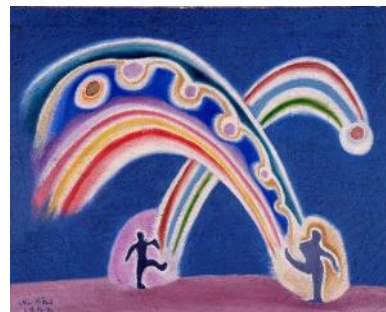


アリスティード・マイヨール《ウェルギリウスの農耕歌》
1937～1944年

【第2展示室】

たいいく

「体育」の授業と聞いて思い浮かべるような、さまざまなスポーツや、運動を連想する特別な体の使い方を描いた作品を紹介しています。



名井万亀《フットボール》1946年

しゃかい

小学校の社会科で学習する、身の回りの仕事や産業、日本の国土・政治・歴史、世界の国のかかわり等にちなんで、地域の歴史・産業、世界を驚かせた事件など、授業の要素に沿った作品を紹介します。



前期 浜崎左髪子《広島夕景》1966年頃



後期 浜崎左髪子《スラム街》1974年

【第3展示室】

おんがく

楽器を演奏している様子を描いた作品や、歌っている人や指揮する姿を表現した作品を紹介しています。音楽という、目に見えないものを聴いてみましょう。



芥川 永《カンタトリス》1984年

りか

「昆虫の観察」・「水の変化／天候」・「太陽の光」・「植物の観察」・「動物？植物？」という5つのカテゴリーを設けています。画家たちの個性が捉えた自然観察の世界にご注目を！



吉田博《瀬戸内海集「帆船 朝」》1926年

【第4展示室】

かていか

「衣」・「食」という2つのカテゴリーを設けています。
「衣」では日本の伝統的な衣服や中央アジアの刺繍袋を、「食」では食べ物を描いた作品や食事が楽しくなるような器を紹介します。



ウズベク人、ラカイ《刺繍袋》20世紀初頭

こくご

漢字をモチーフにした作品や読書をしている様子を描いた作品、作品名に詩の一部がつけられた作品などを紹介します。



芹沢銈介《風の字のれん》1957年

【ウェルカムギャラリー これが、県美の広島愛。】

昨秋、リニューアルオープン25周年を記念して、新たな展示コーナーとしてウェルカムギャラリーを設けました。当館の顔ともいえる大理石に囲まれた展示室で、当館の成り立ちを紹介する動画とともに、美術への関心の度合いに応じて選べる作品解説を御用意しました。皆さまへの歓迎の気持ちと、「多くの方々の美術への誘いとなるように」との願いを込め、この場所を「ウェルカムギャラリー」と命名しました。

第1回目の展示となる本展では、「これが、県美の広島愛」をテーマに、広島県ゆかりの著名作家である、洋画家の小林千古・南薫造・鬨光、日本画家の児玉希望・奥田元宋・平山郁夫、彫刻家の平櫛田中・圓鋸勝三、工芸作家の六角紫水・清水南山・今井政之の作品を一堂に展示します。作家を育んだ広島という地域の特性や、作家の広島への想いを伝えるエピソードと合わせて、当館が誇る名品の数々を御覧ください。

また、1階ロビーでは画家・菅井汲が所持したポルシェの展示や、1階図書室では美術をテーマにしたマンガコーナーを設けるなど、多くの方々に美術に親しんでいただく場を御用意しています。

美術が好きな方も、これから好きになる方も、どうぞお気軽にお楽しみください。

最後の広島藩主の威風を伝えた
平櫛田中(彫刻家)
故郷に目を覚まして
疎開した風景に
金丁近所の代
広島の
平櫛の願を人形に託す
これが、県美の広島愛。
被爆体験から故郷の山河に
アメリカで見つけた夢
一移居民山渡
画業競つて拓いた
故郷の友と
2021年11月9日
ウェルカムギャラリー誕生
広島県立美術館が所蔵する広島を代表する作家の作品を一堂に展示します。
Welcome!
広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum



【関連イベント】

■家庭科ワークショップ「刺しゅうのしおり作り」

中央アジアのウズベク・ラカイの刺繍(クロスステッチ)でコーナブックマーク(しおり)を作ります。

日時：2022年8月4日(木) および 7日(日)

各日10:00-12:00、13:30-15:30(計4回)

場所：2階 第4展示室横

講師：福田 浩子(当館学芸課長)・岡地 智子(当館学芸員)

対象者と定員：ひとりで針と糸を持てる方(こどもから大人まで)

各回6名(先着順)

※要事前申込【Tel.082-221-6246(当館)】(申込受付:2022年7月22日(金)11:00～)

お名前、ご連絡先、地域などお伺いします。

※参加費無料。要入館券。

※持参物：木綿布(10×10センチを2枚、キャンバスやデニム等の厚いものは適しません。

当館で準備した布を使ってもOK。)



■図工科ワークショップ「額縁を作ろう」

夏の思い出を飾れるよう、絵葉書を収めるのに最適なサイズの額縁を、ちょっと本格的な木工で作ります。

日時：2022年8月14日(日) および 19日(金) 各日14:00-16:00

場所：地階講堂にお集まりください

講師：角田 新(当館主任学芸員)

対象者と定員：最低参加年齢 小学校5年生以上(一人でのこぎりやカッターナイフが使える方)

各日6名(先着順)

※要事前申込【Tel.082-221-6246(当館)】(申込受付:2022年7月29日(金)11:00～)

名前、連絡先、地域などお伺いします。

※参加費無料



■リレートーク

当館学芸員が各室の見どころをリレー形式で紹介するトークイベントです。(ワイヤレスガイド使用)

日時: 2022年8月5日(金) 15:00~15:45

場所: 2階 展示室

講師: 角田 新(当館主任学芸員)、神内 有理(当館主任学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)、森 万由子(当館学芸員)

定員: 12名

※要事前申込【Tel.082-221-6246(当館)】

※要入館券。会場入り口でお待ちください。

■対話型鑑賞

夏の所蔵作品展に出品中の作品から、学芸員が選んだいくつかの作品をみんなでお話ししながら鑑賞します。

(機材や接続環境、Zoomの操作につきましては、各自で準備をお願いします。)

日時: ① 2022年9月10日(土) 14:00~

② 2022年10月8日(土) 10:00~

ナビゲーター: 森 万由子(当館学芸員)、岡地 智子(当館学芸員)

参加方法: ① 2階 展示室(ワイヤレスガイド使用) ※要入館券。会場入り口でお待ちください。

② オンライン(Zoom)

定員: ① 8名※要事前申込【Tel.082-221-6246(当館)】

② 6名※要事前申込以下のフォームからお申し込みください。

申込フォーム↓

<https://forms.gle/fG4URu1H3zCEZc4u6>



申込フォーム

■インスタライブ配信

閉館後の展示室内からギャラリートークをライブ配信します。(約15分間)

内容: ①工芸 ②日本洋画

日時: ① 2022年8月2日(火) 17:00~

② 2022年8月23日(火) 17:00~

講師: ①福田 浩子(当館学芸課長) ②角田 新(当館主任学芸員)



公式Instagram

■子ども向けワークシート

作品を想像力で読み解いてゆくワークシートを配布します。

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用は御遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。御了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館まで提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。御了承ください。

御来館の皆さまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

- 次に該当するお客様は、入館を御遠慮ください。
 - ・発熱や、軽度であっても咳・のどの痛みなどの症状があるなど体調の悪い方
- 協力のお願い
 - ・正しいマスクの着用、手指のアルコール消毒、咳エチケット
 - ・会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。
 - ・人と人との接触を避けるため、できるだけ距離を空けてください。
 - ・来館者が多い場合は、入場制限を行う場合がございます。

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail iroeuma2@gmail.com

担当 学芸課 神内 有理

総務課 広報担当 一色 直香、弘津 かおる